



NO.71
2025.9

岡山
く
り
ん

日本テクノは電気エネルギーに関する
トータルソリューションサービスを
提供します。

つくる

調達改善 発電・小売電気事業

発電事業者、小売電気事業者である日本テクノ。
多種多様な信頼できる電源から、電気を安定的にお届けし、
国内のエネルギー基盤強化に寄与してまいります。

電力小売件数 **24,580**件 (2025年4月1日現在)

**新電力販売量ランキング
高圧(2024年12月)発表 2位※1**

※1 実績:経済産業省/資源エネルギー庁

まもる

保安改善 保安全管理・点検業務

国家資格を有する当社の電気管理技術者および、
協力会・日電協所属の電気管理技術者によって、
信頼性の高い保守管理・点検を行っています。

ES契約・設置件数 **73,978**件 (2025年3月1日現在)

民間企業 No.1※2

※2 民間事業者(傘下の協会員を含む)受託軒数ベース(株)矢野経済研究所調べ(2016年8月時点)

賢くつかう

運用改善 電力コンサルティング

SMARTMETER ERIA・SMART CLOCK による
電気の「見える化」で省エネをはじめ、
業務効率の改善や生産性向上を支援します。

電力マネジメントシステム導入件数
48,632件 (2025年4月1日現在)

SMARTMETER ERIA

SMART CLOCK

 **日本テクノ株式会社**



兵庫・瀬戸内支店 岡山営業所 担当者: 畑・薦田

〒700-0821

岡山県岡山市北区中山下1-8-45 NTTクレド岡山ビル19階

TEL: 0120-308-512

30th
SINCE 1995
ANNIVERSARY

◆事業報告◆

第14回通常総会開催	2
全国産業資源循環連合会 第15回定時総会表彰式及び法人化40周年記念式典を同時開催	5
中国地域協議会 令和7年度第1回会議（総会）in 岡山	6

◆行政NEWS◆

廃棄物処理法施行規則の一部改正について	7
再資源化事業等高度化法が一部施行	8
岡山県の産業廃棄物排出状況等	9
許可期限お知らせメールサービス	10
不適正ヤード問題への対応について	11

◆特集◆

職場の安全衛生 安全衛生講演会（令和7年通常総会講演会）	12
建災防・岡山地区安全指導者協議会によるパトロールについて	16
令和6年度 ヒヤリ・ハット調査結果	19

◆支部ニュース◆

倉敷支部 令和6年度視察研修会（香川県）に参加して	21
倉敷南支部 令和6年度日帰り研修会報告	22
津山支部 2024年度視察研修会に参加して	23

◆青年部会のページ◆

青年部会第14回通常総会	24
全国産業資源循環連合会 青年部協議会 中国ブロック 令和7年度第22回通常総会	25
全国産業資源循環連合会青年部協議会 第26回通常総会	25
第19回親子エコツアーを開催する	26

◆委員会報告◆

災害廃棄物委員会 災害廃棄物連絡会議、協力要請連絡訓練が開催される	27
-----------------------------------	----

◆趣味のコーナー◆

キャンプの魅力にはまって。	28
---------------	----

◆会員紹介コーナー◆

備北支部 ニシヨウ株式会社	29
賛助会員 日本エクスラン工業	30

◆事務局だより◆

新入会員のご紹介／新入職員の紹介／令和7年度研修会開催予定のお知らせ	31
表紙写真ガイド／編集後記	32



*右下のマークは、産業廃棄物適正処理のマスコット「てき丸君」です。

第14回通常総会開催

令和7年5月24日、岡山プラザホテルで第14回通常総会が開催されました。
講演会、表彰式、懇親会に約100名の会員が参加しました。

講演会

「岡山県内の労働災害発生状況と防止対策について」と題し、厚生労働省 岡山労働局労働基準部健康安全課課長の貞宗恵治様より講演をいただきました。多くの事業所が関係する「熱中症対策」についての説明もあり、参加した会員は真剣に耳を傾けていました。(内容は「特集コーナー」にて紹介)



総会

来賓として岡山県環境文化庁循環型社会推進課の藤本課長、岡山県議会環境文化保健子ども福祉委員会の正木副委員長、岡山県警察本部生活安全部生活安全捜査課の内海課長補佐、岡山市環境局環境部産業廃棄物対策課の渡邊課長補佐、倉敷市環境局資源循環部廃棄物対策課の行武課長のご臨席を賜り、ご祝辞をいただきました。



表彰式

令和7年度岡山県産業資源循環協会会長表彰受賞者には、大塚会長から表彰状と記念品が授与され、受賞者を代表して明和建設(株)の黒田正義様が謝辞を述べられました。

●功労者表彰(5名)(以下敬称略)

- 黒田正義 明和建設株式会社
- 萩原淳一 新明産業株式会社岡山支店
- 横山淳平 株式会社横山サポートテック
- 室山晃一 山陽美業株式会社
- 山田耕司 エコシステム山陽株式会社



●優良事業所表彰（6社）

株式会社花島建設 岡山市東区中川町
 彦崎通運株式会社 岡山市北区岡南町
 有限会社吉備環境設備 岡山市北区大内田
 株式会社ビーシー工業 倉敷市中畝
 有限会社藤充建設工業 井原市井原町
 坂田碎石工業株式会社 久米郡久米南町山手



●優良従事者表彰（7名）

藤井 昭 操工業有限会社
 佐藤 徹 株式会社西日本アチューマツトクリーン
 原田 実 JFE条鋼株式会社
 秋山則子 中央建設株式会社
 塩津昌泰 内田工業株式会社
 大島啓伸 有限会社おがわ商店
 菊元康明 エコシステム山陽株式会社



受賞された皆様、おめでとうございます。

議案審議

委任状を含む355名の会員が出席し、令和6年度事業報告及び収支決算報告、令和7年度事業計画案及び収支予算案、辞任に伴う理事の補充選任についての議案が承認されました。



臨時理事会

臨時理事会が開催され、岩本充博理事が専務理事（兼事務局長）に選任されました。



懇親会

来賓として、岡山県選出の国会議員、岡山県環境文化部長、岡山県議会議員、岡山市議会議員13名もの皆様が駆けつけていただき、あたたかい激励のお言葉を頂戴しました。岡山県産業廃棄物処理業協同組合の田口理事長の乾杯の発声とともに歓談が始まり、三好副会長の中締め挨拶までの間、約110名の参加者は思い思いに席を移りながら有意義なひと時を過ごしました。

ご臨席いただいた来賓の皆様

- 衆議院議員 山下貴司 様
 衆議院議員 小野田紀美 様
 岡山県環境文化部 部長 國重良樹 様
 岡山県環境文化部 循環型社会推進課
 課長 藤本貴久 様
 岡山県環境文化部 循環型社会推進課
 総括副参事 上原長裕 様
 岡山県議会議員(協会顧問) 千田博通 様
 岡山県環境文化保健子ども福祉委員会
 副委員長 正木美恵 様
 岡山県議会議員 太田正孝 様
 岡山市議会議員 松田隆之 様
 岡山市議会議員 長岡将克 様
 衆議院議員 加藤勝信 秘書 杉原洋平 様
 衆議院議員 逢沢一郎 秘書 足立 輝 様
 衆議院議員 平沼正二郎 秘書 山下 満 様



頂戴した祝電

- 岡山県知事 伊原木隆太 様
 岡山市長 大森雅夫 様
 倉敷市長 伊東香織 様
 衆議院議員 加藤勝信 様
 衆議院議員 逢沢一郎 様
 衆議院議員 山下貴司 様
 衆議院議員 平沼正二郎 様
 参議院議員 小野田紀美 様
 衆議院議員 谷合正明 様
 岡山県議会議員 加藤浩久 様
 岡山県議会議員 小田春人 様
 岡山県議会議員 増川英一 様
 岡山県議会議員 二嶋宣人 様
 元岡山県議会議員 小林孝一郎 様
 (公社) 全国産業資源循環連合会
 会長 永井良一 様

全国産業資源循環連合会 第15回定時総会 表彰式及び法人化40周年記念式典を同時開催

令和7年6月20日、東京都港区にある明治記念館において(公社)全国産業資源循環連合会の第15回定時総会が開催され、全国の協会関係者ら総勢300名超が参加する中、当協会からは正副会長、受賞者あわせて10名が参加しました。

令和6年度の事業・決算報告等総会の後、6年ぶりに全産連会長表彰式典が執り行われ、次の方々が受賞されました。

公益財団法人 全国産業資源循環連合会会長表彰(敬称略・受賞者名簿順)

- 地方功労者表彰 : 株式会社アースクリエイト 三好員弘
: 中野開発株式会社 中野貞治
- 優良事業所表彰 : 株式会社フルカワ商事
- 地方優良事業所表彰 : タマタイ産業株式会社
: 株式会社美建ビルサービス
- 優良従事者表彰 : 藤クリーン株式会社 江草博行
: 株式会社廃棄物センター 福田正文



表彰式に続いて全産連の法人化40周年の記念式典が開催され、永井連合会会長は、「法人化40周年という大きな節目を迎え、様々な課題に対し『環境を守り、産業を支える』資源循環産業として飛躍するための基盤づくりに取り組んでまいります」と述べられました。

また記念講演では、元アテネオリンピックサッカー日本代表監督、NHKサッカー解説者の山本昌邦氏による「心をつかむ人材育成術」と題した講演を聴講し、大変有意義な時間を過ごすことができました。

講演会後に行われた懇親会には多数の来賓がご臨席される中、岡山県選挙区の逢沢一郎衆議院議員も駆けつけてくださり、当協会の参加者と懇親を深めることができました。



中国地域協議会 令和7年度第1回会議（総会） in 岡山

令和7年5月17日（土）、岡山プラザホテルで（公社）全国産業資源循環連合会中国地域協議会の第1回会議（総会）が開催され、当協会からは大塚会長ほか4名の副会長が参加しました。

冒頭、中国地域協議会の尾崎会長から、5月13日の日経新聞に外国人労働者の特定技能の業種に資源循環（廃棄物処理）が追加される記事があった。我々業界も資源循環の事業者として大きな転換期にある中、業界と国が連携していくことが重要で、本日はこの後、環境副大臣に来ていただき講演いただくこととしていると挨拶があった。



会議では令和6年度の事業報告と決算、令和7年度の事業計画と予算が満場一致で承認され、辞任に伴う連合会マニフェスト推進委員会委員の後任として、広島県協会の専務理事となる中川司氏を推薦することが承認された。

総会に続き研修会が開催され、環境副大臣の中田宏氏から「環境＝経済」をテーマに講演をいただいた。これからのものづくりには再生品の使用が多く求められるようになり、今のままでは再生品が足りない。産業廃棄物処理業界は、再生資源を供給する事業者として今後の日本経済を支えていく側となる大きなビジネスチャンスであると語られた。

中国地域協議会では、今年度内に四国地域協議会と災害廃棄物処理に関する相互応援協定を締結する準備を進めており、次回会議は10月28日に鳥根県で開催予定である。



岡山県からのお知らせ

廃棄物処理法施行規則の一部改正について

1 委託契約書に含まれるべき事項の追加（施行日：令和8年1月1日）

委託者が第一種指定化学物質等取扱事業者であって、委託する産業廃棄物に第一種指定化学物質を含む等の場合、当該物質の名称及び量又は割合を契約書に記載する必要があります。

※施行の際に締結済みの契約は、契約更新までの間は改正前の規定が適用されます。

● 第一種指定化学物質等取扱事業者

「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）」で規定された第一種指定化学物質を製造、使用その他業として取り扱う等により、事業活動に伴い当該化学物質を環境に排出されると見込まれる事業者。業種や従業員数、年間取扱量等が要件となっている。

● 第一種指定化学物質

人や生態系への有害性があり、環境中に継続して広く存在すると認められる物質として、計515物質が指定されている。（例：揮発性炭化水素（ベンゼン、トルエン等）、有機塩素系化合物（ダイオキシン類、トリクロロエチレン等）、農薬（臭化メチル、フェニトロチオン等）、金属化合物（鉛及びその化合物、有機スズ化合物）、石棉など）

▶化管法の詳細は経済産業省ウェブサイトを参照ください。
検索ワード例
「経産省 PRTR制度」



● 公益社団法人全国産業資源循環連合会 標準様式の改訂条文

第3条第1項

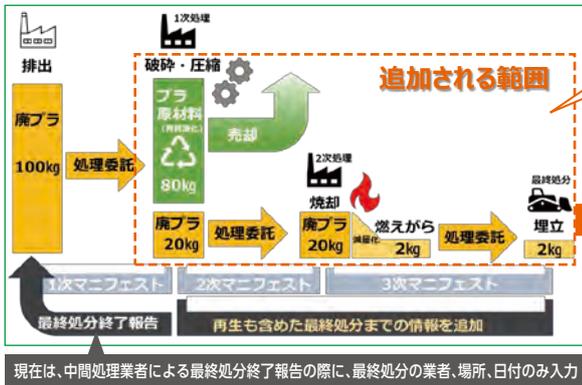
キ 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律第2条第5項に規定する第1種指定化学物質等取扱事業者である場合であって、かつ、委託する産業廃棄物に同条第2項に規定する第1種指定化学物質が含まれ、又は付着している場合には、その旨並びに当該産業廃棄物に含まれ、又は付着している当該物質の名称及び量又は割合
ク その他取扱いの注意事項

2 電子マニフェストの項目追加（施行日：令和9年4月1日）

電子マニフェストで中間処理業者が最終処分終了報告を行う際に、再生を含む最終処分の情報（処分業者、処分方法、処分量、再生量など）の登録が必須となります。



● 追加される項目



- 中間処理業者が、最終処分終了報告の際に「自社における処分と二次マニフェスト以降の最終処分までの情報」を入力する。
- Web入力方式では、処分方法等の情報をあらかじめ登録して簡便に入力できるシステムにすることで対応。

【わかること】
・ 中間処理(1次処理)の業者・場所・日付
・ 最終処分の業者・場所・日付

【新たにわかること】
・ 処分に関わる業者情報
・ 処分方法と処分した量
・ 再生資源物を含む、中間処理後物の種類・量
・ 最終処分した物の種類・量

▶ 出典
令和6年12月13日
環境省資料



No.	マニフェスト番号	排出事業場の名称	廃棄物の種類(大分類名称)	基準重量	マニフェスト区分	許可番号(下6桁)	処分業者名称	処分事業場名称	所在地	処分前廃棄物の種類	処分方法	処分方法ごとの量	処理後物の種類	処理後物の量
1	12345678910	*****	廃プラスチック類	100kg	1次	*****	*****	*****	*****		破碎/選別/圧縮	80kg	プラスチック原材料	80kg
2					2次	*****	*****	*****	*****		破碎/選別	20kg	廃プラスチック類	20kg
3					3次	*****	*****	*****	*****	廃プラスチック類	焼却	20kg	燃え殻	2kg
4					4次	*****	*****	*****	*****	燃え殻	管理型埋立	2kg	燃え殻	2kg

現在は、中間処理業者による最終処分終了報告の際に、最終処分の業者、場所、日付のみ入力

岡山県からのお知らせ

再資源化事業等高度化法が一部施行 ～特定産業廃棄物処分業者について～

令和6年5月29日に公布された、脱炭素化と再生資源の質と量の確保等の資源循環の取り組みを一体的に促進するため、再資源化事業の高度化に係る認定制度等を規定した「資源循環の促進のための再資源化事業等の高度化に関する法律」について、令和7年2月1日に基本方針、関係者の責務、廃棄物処分業者の判断の基準となるべき事項等に関する規定が施行されました。そのうち対象となる「特定産業廃棄物処分業者」の規定について紹介します。

環境省ホームページ ▶



1 対象要件（特定産業廃棄物処分業者の定義）

産業廃棄物処分業者（再生を含み、埋立処分及び海洋投入処分を除く。）であって、当該年度の前年度において処分を行った産業廃棄物の数量が10,000 t 以上（廃プラスチック類にあっては1,500 t 以上）である者が「特定産業廃棄物処分業者」となります。

※複数の事業場を持つ場合は、すべての事業場における合算値となります。

特定産業廃棄物処分業者とは

産業廃棄物処分業者で
前年度の産業廃棄物の処分量が10,000 t 以上の者
又は廃プラスチック類の処分量が1,500 t 以上の者

2 報告義務・公表

特定産業廃棄物処分業者は、前年度の産業廃棄物の種類及び処分の方法の区分ごとに、その処分を行った数量及びその再資源化を実施した数量を環境大臣に報告しなければなりません。報告された内容は、国において公表されます。

※具体的な報告の方法や時期、内容等に関する規定は、令和7年11月施行予定

3 環境大臣による勧告・命令

特定産業廃棄物処分業者の再資源化の実施の状況が、判断基準に照らして著しく不十分であるときは、再資源化の実施に関し、必要な措置をとるべき旨の勧告の対象となります。

正当な理由なくその勧告に従わなかった場合であって、再資源化の実施の促進を著しく阻害すると認められる場合は、当該勧告に係る措置命令の対象となります。

**低濃度 PCB 廃棄物の処分期限
(2027年3月31日) 迫る！**



岡山県からのお知らせ

岡山県の産業廃棄物排出状況等

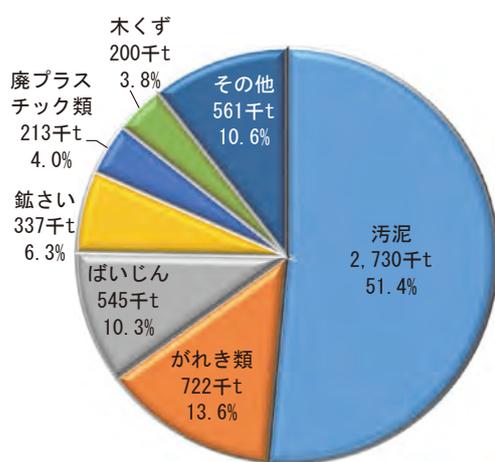
(令和5年度実績)

岡山県では、令和4年3月に第5次岡山県廃棄物処理計画を策定し、産業廃棄物の排出抑制及び循環的利用の推進に取り組んでいますが、このたび、令和5年度に県内で発生した産業廃棄物の排出、処理状況等の調査結果が取りまとめられました。

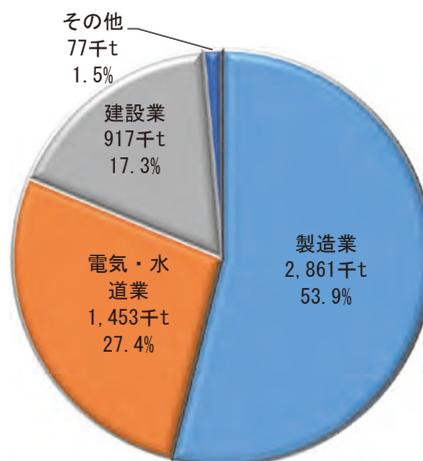
【排出状況】

令和5年度の県内での産業廃棄物の排出量は5,308千tで、前年度(5,342千t)から減少しました。種類別排出量では、汚泥が2,730千t(排出量全体の51.4%)と最も多く、次のがれき類が722千t(同13.6%)、ばいじんが545千t(同10.3%)でした。

業種別排出量では、製造業が2,861千t(同53.9%)と最も多く、次に電気・水道業が1,453千t(同27.4%)、建設業が917千t(同17.3%)でした。



種類別排出量 (単位：千 t)



業種別排出量 (単位：千 t)

【第5次岡山県廃棄物処理計画の目標との比較】

排出量は第5次岡山県廃棄物処理計画の目標を達成していますが、再生利用率及び最終処分量は目標を達成できていない状況にあります。

	令和元年度実績 (基準年)	令和5年度実績	令和7年度目標 (第5次廃棄物処理計画)
排出量	5,583千t	5,308千t	5,626千t以下
再生利用量	2,625千t (47.0%)	2,552千t (48.1%)	- (47.0%以上)
減量化量	2,683千t (48.0%)	2,450千t (46.2%)	- -
最終処分量	273千t (4.9%)	303千t (5.7%)	271千t以下 -

注：各欄記載の割合は、排出量に対する割合

**第5次岡山県廃棄物処理計画の目標を達成すべく、
産業廃棄物の排出抑制及び循環的利用のより一層の取組をお願いします。**

岡山県からのお知らせ

許可期限お知らせメールサービス

産業廃棄物処理業の許可の有効期限は、5年（優良認定業者は7年）です。許可は、更新手続きをしないと効力を失います。許可証の有効期限について常に注意しておきましょう。

岡山県では、県・岡山市・倉敷市の産業廃棄物処理業の許可や自動車リサイクル法の許可（登録）の期限到来前にメールでお知らせするサービスを令和6年4月1日から開始しました。登録方法は以下をご確認ください。

メール
アドレスの申請

step1

申請フォームにアクセス

- ・お知らせを受け取るメールアドレスを申請します
 - ▶ 右のQRコードを読み取り
申請フォームにお進みください
(県電子申請システム)



【対象】岡山県・岡山市・倉敷市の産業廃棄物処理業の許可または自動車リサイクル法の許可（登録）をお持ちの方

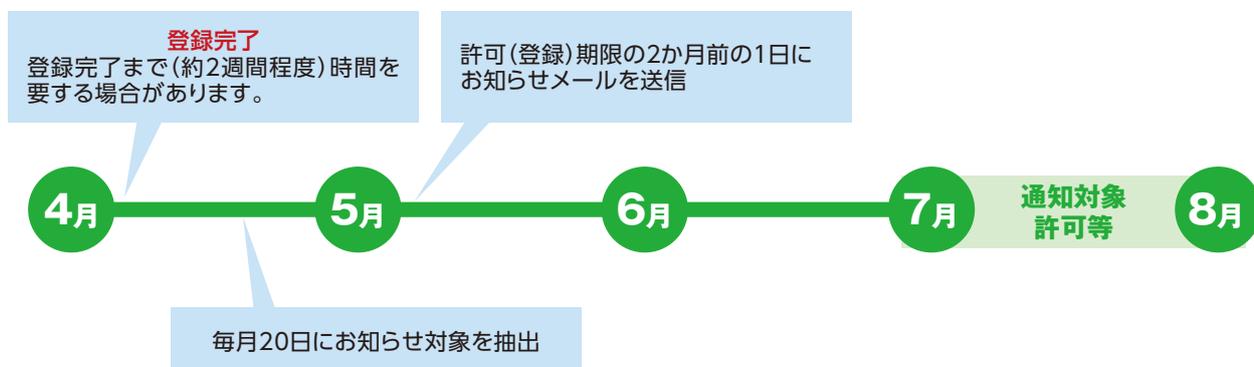
登録完了

step2

申請手続

- ・登録には業者固有番号（許可又は登録番号の下6ケタ）が必要となります。許可証等によりあらかじめご確認ください。
- ・必要事項を入力し、「申込が完了しました」の画面が出れば申請完了です。

必要な手続きは以上です



(その他留意事項)

- ・登録できるメールアドレスは1事業者様につき1つです。社内で共有でき、変更登録の必要のないメールアドレスをお勧めします。
- ・メールアドレスの誤入力等による不達に関しては、一切の責任を負いかねます。登録の際に十分確認の上、ご登録ください。

中国四国地方環境事務所からのお知らせ

不適正ヤード問題への対応について

中国四国地方環境事務所資源循環課

金属スクラップ、電子・電気機器等の再生資源が、ヤードにおける不適正な保管や処理において各地で火災や環境汚染などのトラブルが発生しているため、環境省は令和6年から検討会を開催し、中間とりまとめを踏まえさらに必要な制度的措置の具体化を検討しているところです。

令和7年6月24日に示された「今後の廃棄物処理制度の検討に向けた中間とりまとめ」における「不適正ヤード問題への対応」についてご案内します。詳細は下記URLをご参照ください。

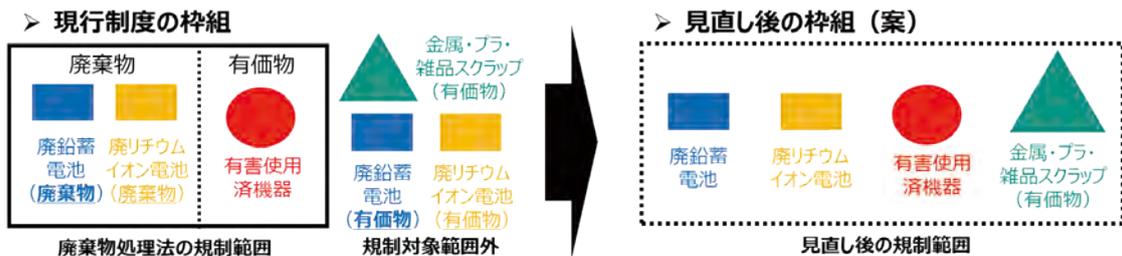
<https://www.env.go.jp/council/content/03recycle06/000323941.pdf>



【概要】

<不適正ヤード問題への対応>

廃棄物又は有害使用済機器に該当しない雑品スクラップや廃鉛蓄電池等の不適正な処理に起因する生活環境保全上の支障が生じていることを受けて、これらの適正な処理を確保するための全国で統一的な法制度の創設が必要。



<検討事項>

① 制度の対象となる物品

- ・ 廃鉛蓄電池等の個々の物品に鉛等の有害物質が含まれ、その不適正な保管・処理により生活環境保全上の支障を生じるおそれのあるものと、金属スクラップや雑品スクラップ等の一定程度集積して保管・処理されることにより生活環境保全上の支障を生じるおそれのあるものを対象。
- ・ 物品が混在して保管されている様態やリチウムイオン電池を内包している等の物品の性質等を踏まえながら対象物品を精査し、包括的な定義付けを検討。

② 制度の内容

- ・ 制度対象物品のそれぞれの性質に応じて、どのような制度を導入すべきか検討。
- ・ 例えば、事業者の能力や保管・処分時の設備の構造、処分方法等の基準の検討。
- ・ 特に、有害物質を含む廃鉛蓄電池等は、生活環境保全上の配慮がなされた一定の要件を満たす事業場でのみ解体等を行うことができる仕組みの検討。
- ・ 実効性の高さや実務面での手続の負担、条例の制定状況や自治体からの要望等を総合的に考慮の上、適切な手法を検討。

③ 適正処理の確実性を高めるための措置

- ・ 制度対象物品の受入れや処分に係る日付や数量等について、帳簿への記載を義務付けること等により、トレーサビリティの仕組みを構築。

④ 適正処理の確保により、不適正輸出を防止するための仕組み

- ・ 廃鉛蓄電池等について、国内処理原則を適用して国内での適正な処理を確保するとともに、輸出に当たっては環境大臣の確認を制度化。

⑤ 制度の実効性を高めるための措置

- ・ 有害使用済機器保管等届出制度と比べて罰則を強化すること等により、不適正な処理等を実効的に抑止。



特集

職場の安全衛生

安全衛生講演会 (令和7年通常総会講演会)

令和7年5月24日(土)、岡山プラザホテルにて通常総会が開催されました。今年の総会講演会は、労働災害の発生状況に加え、改正労働安全衛生法、熱中症対策について、厚生労働省 岡山労働局労働基準部健康安全課課長の貞宗恵治氏にご講演いただきました。

「岡山県内の労働災害発生状況と防止対策について」をテーマに、災害の発生状況や、傾向、起因する行動リスク等について説明されました。また、具体的な事故事例や、事故発生時の報告先など、実際に発生した場合、先ずはどのようなかという率直な疑問に答える内容であったため、大変参考になるものでした。

また、喫緊の課題となる改正労働安全衛生法の「熱中症対策」については、職場における熱中症死亡災害の傾向として、そのほとんどが「初期症状の放置、対応の遅れ」によるものであることから、まず「見つける」「判断する」「対処する」を基本に「早期発見」「早期対応」の処置を行うことが大切であることを強調されておられました。会員一同、一番関心のあった内容でもあったため、講義の内容に大いに満足していました。

最後に貞宗様に感謝申し上げるとともに、本日の学びを活かし、より一層安全な作業環境の実現に向けて努力していくことをお約束いたします。



今回の労働安全衛生規則の改正について

基本的な考え方

見つける



(例) 作業員の様子がおかしい…

判断する



(例) 医療機関への搬送、救急隊要請

対処する



(例) 救急車が到着するまで作業着を脱がせ水をかけ全身を急速冷却

現場の実態に即した具体的な対応

現場における対応

熱中症のおそれがある労働者を早期に見つけ、その状況に応じ、迅速かつ適切に対処することにより、熱中症の重篤化を防止するため、以下の「**体制整備**」、「**手順作成**」、「**関係者への周知**」が事業者に義務付けられます。

1 「熱中症の自覚症状がある作業員」や「熱中症のおそれがある作業員を見つけた者」がその旨を報告するための体制整備及び関係作業員への周知。

※報告を受けるだけでなく、職場巡視やパディ制の採用、ウェアラブルデバイス等の活用や双方向での定期連絡などにより、熱中症の症状がある作業員を積極的に把握するように努めましょう。

2 熱中症のおそれがある労働者を把握した場合に迅速かつ確かな判断が可能となるよう、
① 事業場における緊急連絡網、緊急搬送先の連絡先及び所在地等
② 作業離脱、身体冷却、医療機関への搬送等熱中症による重篤化を防止するために必要な措置の実施手順（フロー図①②を参考例として）の作成及び関係作業員への周知

※参考となるフロー図を2つ掲載していますが、これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。
※作業強度や着衣の状況等によっては、上記の作業に該当しない場合であっても熱中症のリスクが高まるため、上記に準じた対応が推奨されます。
※同一の作業場において、労働者以外の熱中症のおそれのある作業に従事する者についても、上記対応を講ずることとします。

対象となるのは

「**WBGT28度以上又は気温31度以上の環境下で連続1時間以上又は1日4時間を超えて実施**」が見込まれる作業

暑さ指数 (WBGT)

Wet Bulb Globe Temperature (湿球黒球温度)

暑さ指数 (WBGT) は、熱中症を予防することを目的とした指標
作業場所における暑さ指数が、基準値を超えるおそれがある場合には
熱中症になる可能性が高くなるので対策を講じる

暑さ指数を **確認** する

熱中症予防情報サイトで確認できる



熱中症
予防情報サイト



<https://www.wbgt.env.go.jp/>

暑さ指数を **測定** する

WBGT指数計で自分の職場で測定できる



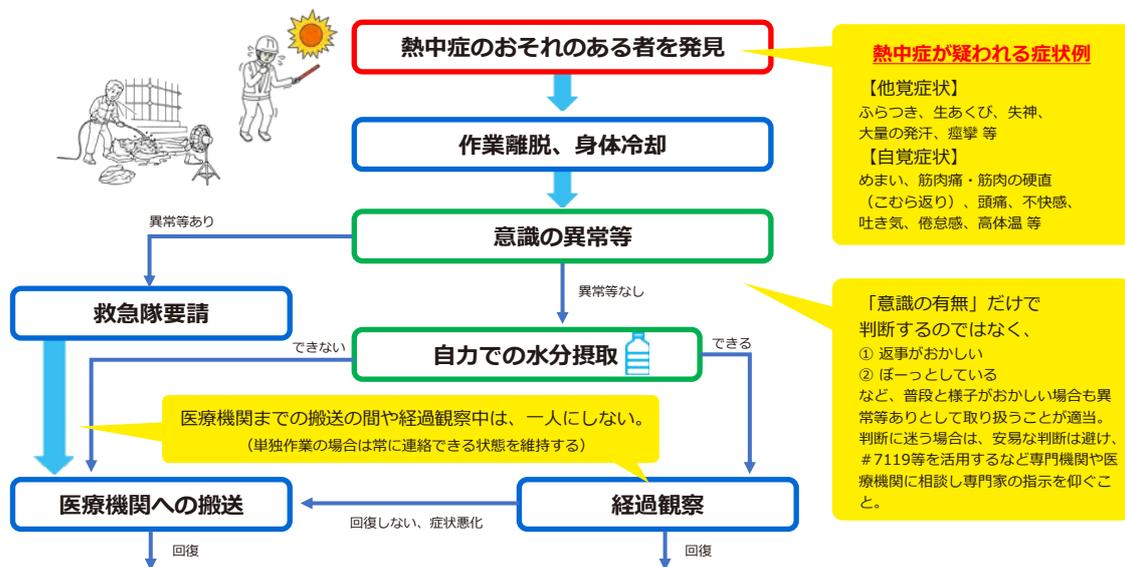
詳しくはこちら



<https://neccyusho.mhlw.go.jp/img/04.pdf>

熱中症のおそれのある者に対する処置の例 フロー図 ①

※これはあくまでも参考例であり、現場の実情にあった内容にしましょう。



回復後の体調急変等により症状が悪化するケースがあるため、連絡体制や体調急変時等の対応をあらかじめ定めておく。

あれっ、何かおかしい



手足がふる



吐き気



何となく体調が悪い



立ちくらみ・めまい



汗のかき方がおかしい

汗が止まらない/汗がでない

すぐに疲れる

解説

「手足がふる」「立ちくらみ・めまい」「吐き気」「汗が止まらない。逆に汗が出ない」といったことがあれば、熱中症の可能性がります。また「何となく体調が悪い」「すぐに疲れる」といった症状がみられることもあります。

4. 「命を救う行動」 現場で作業員が倒れたときの ○ 対応

▶ 作業員の様子がおかしいと思ったら...

1



すぐに**119**番

2



救急車が到着するまで
作業着を脱がせ 水をかけ全身を **急速冷却**

次頁参照

3

救急搬送
▼
生還

すぐに**119**番 ▶ 水をかけ、全身を『**急速冷却**』！

職場における 熱中症予防基本対策要綱に基づく取り組み

第2 熱中症予防対策

1 作業環境管理

(1) WBGT値の低減等

屋外の高温多湿作業場所においては、直射日光並びに周囲の壁面及び地面からの照り返しを遮ることができ、簡易な屋根等を設けること。



(2) 休憩場所の整備等

高温多湿作業場所の近隣に冷房を備えた休憩場所又は日陰等の涼しい休憩場所を設けること。



3 健康管理

(1) 健康診断結果に基づく対応等

(2) 日常の健康管理等

睡眠不足、体調不良、前日等の飲酒、朝食の未摂取等が熱中症の発症に影響を与えるおそれがあることに留意の上、日常の健康管理について指導を行うとともに、必要に応じ健康相談を行うこと。



(3) 労働者の健康状態の確認

(4) 身体の状況の確認

2 作業管理

(1) 作業時間の短縮等

(2) 暑熱順化

高温多湿作業場所において労働者を作業に従事させる場合には、暑熱順化（熱に慣れ当該環境に適応すること）の有無が、熱中症の発症リスクに大きく影響することを踏まえ、計画的に暑熱順化期間を設けることが望ましいこと。

(3) 水分及び塩分の摂取

自覚症状の有無にかかわらず、水分及び塩分の作業前後の摂取及び作業中の定期的な摂取を指導すること。



(4) 服装等

熱を吸収し、又は保熱しやすい服装は避け、透湿性及び通気性の良い服装を着用させること。

4 労働衛生教育

労働者を高温多湿作業場所において作業に従事させる場合には、適切な作業管理、労働者自身による健康管理等が重要であることから、作業を管理する者及び労働者に対して、あらかじめ次の事項について労働衛生教育を行うこと。



(1) 熱中症の症状

(2) 熱中症の予防方法

(3) 緊急時の救急処置

(4) 熱中症の事例

特集 職場の安全衛生

建災防・岡山地区安全指導者協議会による パトロールについて

株式会社石原工務店 安全対策室 室長 石原 大蔵

毎年のように施行される法改正に、会員の皆様はご苦労されていることと思います。直近では、令和7年6月1日に「熱中症対策」が罰則付きで義務化されました。その他にも皆様の事業に直接的な影響を与える法改正として、「貨物自動車への昇降設備の設置」、「テールゲートリフターに関する特別教育の実施」、「安全運転管理者によるアルコールチェック」の義務化などが挙げられます。また、建設現場においても、働き方改革、化学物質管理責任者・保護具管理者の義務化、化学物質の自主管理やリスクアセスメント、足場、墜落制止用器具など、多岐にわたる法改正が施行されています。

このような状況下、私たちが実施している岡山地区安全指導者によるパトロールは、実際の現場で事業場の安全への取り組みについて助言を行い、各社の安全レベル向上を支援することを目的としています。パトロールは、建設業協会11名、建設業労働災害防止協会2名、そしてオブザーバーとして岡山労働基準監督署もご参加いただいています。パトロールの対象は、岡山労働基準監督署管轄内の建災防会員及び建設業協会会員の企業を優先しています。このパトロールは臨検（立ち入り検査）とは異なり、指導票を発行するようなものではありません。毎年、複数の企業から自社の現場パトロールを依頼されるなど、その活動は高く評価されています。

具体的にどのような指導をするのか事例をご紹介します。

指導事例① 工事現場で材料搬入時に荷物を吊り上げて下ろしているときの状況です。



パトロールを行った際、運転席側には昇降設備がなく、狭い荷台の縁で玉掛作業が行われていました。この場合は、荷台からの転落防止のため、トラックの両側に「立ち馬」などを活用した作業床を設置することで、リスクを回避できると助言しました。

【良い点】

- ① 運転席側の前輪に輪止めが設置されており、良い取り組みです。この現場では、搬入車両への輪止め設置がルール化されているとのことでした。輪止めの際の注意補足として「輪止めを設置したか、外したか」「サイドブレーキをかけたか」を作業の都度、声に出して確認する習慣をつけることなどが重要です。
- ② 現場のゲートは常時封鎖されており、搬入時は警備員が配置されるなど、セキュリティー、安全性の確保ができていました。

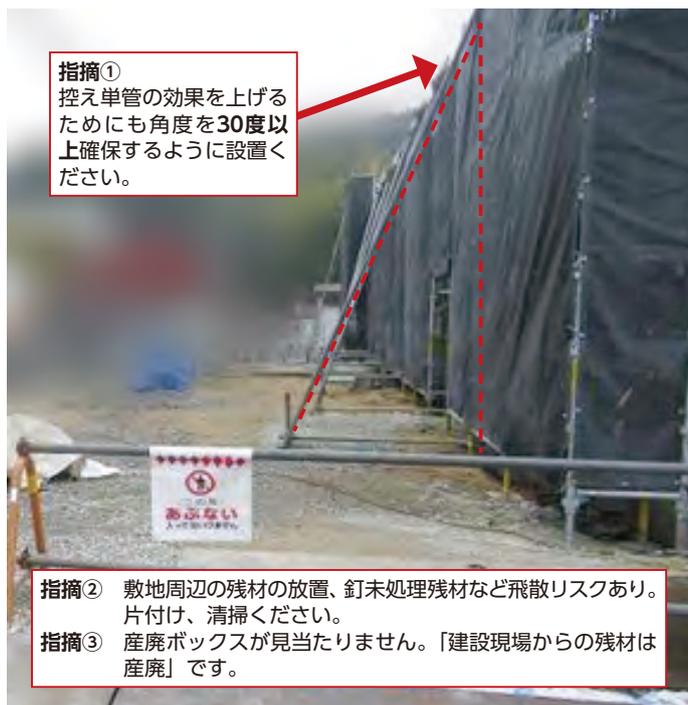
【改善点】

指摘事項には含めませんでした。シート(養生シートなど)を荷台から離れた場所に置くことで、作業スペースを確保でき、より安全性が高まります。

指導事例② 工事現場の写真です。

この現場では産廃置場の表示がなく、地面に直置きしていました。こういった現場では産廃ボックスを設置することが望ましいでしょう。他の現場の例で、産廃ボックスに分別の表示はあるものの、保管場所の**60cm角以上の表示**を忘れていたのをよく見かけます。

足場については、近年ニュース等で倒壊している足場をよく目にします。強度を確保するため、足場の控えだけでなく、建物側の壁つなぎが適切な間隔で設置され、確実に固定されているかを確認してください。強風等が予測される場合は、シートを外し、風の負荷を軽減させる措置が必要です。



指摘① 控え単管の効果を上げるためにも角度を**30度以上**確保するように設置ください。

指摘② 敷地周辺の残材の放置、釘未処理残材など飛散リスクあり。片付け、清掃ください。
指摘③ 産廃ボックスが見当たりません。「建設現場からの残材は産廃」です。

指導結果について

安全パトロールでは、報告書に2枚の現場写真を添付し、好事例や指摘事項を明確にしています。これにより、文字だけでは伝わりにくい問題点や改善点を一目で把握でき、具体的な対策が立てやすくなります。必要に応じて、写真に改善箇所の位置を明示する工夫も取り入れています。

《過去の発表資料》

2024年10月の発表：「岡山地区安全指導者によるパトロールでの工夫事例と指導事項について」(建設業労働災害防止協会岡山県支部ホームページにて公開)・2023年の発表：「リスクにチャレンジ岡山」(同ホームページにて公開)

安全活動への新たな視点と安全パトロールのご案内

企業活動では生産性やコスト削減が優先されがちですが、事故や災害による工事停止は甚大な損害をもたらします。無事故・無災害が続くと、安全への意識が薄れてしまうことも少なくありません。これは建設業に限らず、あらゆる業種に共通する課題です。こうした状況を打破するには、新しい視点や刺激が重要となります。



《無料安全パトロールのご案内》

私たちは、建設業労働災害防止協会から依頼を受け、岡山県建設業協会から委嘱されたメンバーによる無料の安全パトロールを毎月定期的実施しています。「業界全体の災害を減らしたい」という強い思いのもと、参加メンバーは自社の枠を超えて活動しています。

この活動が皆様の現場安全管理の一助となれば幸いです。ご自身の工事現場を見に来てほしいとご希望される方がいらっしゃいましたら、ぜひお気軽にお声がけください。



岡山地区安全指導者によるパトロールでの工夫事例と指導事項について(抜粋)

「吊荷」事例



クレーンの玉掛作業前に吊荷の訓練を実施(333運動)
30cm昇降・3秒停止・3m離隔距離確保



加工鉄筋の吊りには、鉄の荷重がゴケ筋を曲げ加工しているが、強度の確保ができないので、吊上げ時にカゴが破壊するリスクあり。
専用ボックス・ワイヤーモックを使用
中止め・かぶり確保鉄筋の吊りには、ドラム缶・缶利用だと吊上げ中にカゴが破壊するリスクあり。
専用ボックス・ワイヤーモックに入れてください。

「荷台昇降」事例



荷台への昇降には、手掛かり・手すり付きの昇降設備を使用。

「荷台墜落対策」事例



荷降ろし位置近くに「昇降設備と敷マットを装備」

※「荷台での墜落防止のため、ボールに予め税関を張る方法」では、墜落時、ランヤードが機能しない。



日よけテント設置
紫外線を防ぎ、冷風機風風機で温度上昇緩和



ミストファン設置
ミスト散布された水を送風。



冷却用ベンチ
冷却ベッチ専用ワークベスト



冷却ベッチ専用ワークベスト
背面両側4か所に直径5cmヘルメットサイズを確保。電源を入れて、約10秒で電圧温度より約12℃の冷風を発生させます。改良型で、身体全体をクールダウン。※夏場専用ベター



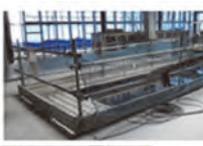
スポーツドリンクを格安提供



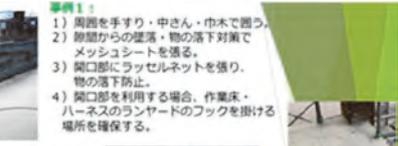
かき氷イベント開催



事例1:
1) 周りを手すり・中さん・巾木で囲う。
2) 隙間からの墜落・物の落下対策でメッシュシートを張る。
3) 開口部にラッセルネットを張り、物の落下防止。
4) 開口部を利用する場合、作業床・ハーネスのランヤードのフックを掛ける場所を確保する。



事例2:
1) 開口部に蓋をする。
2) 開口部の蓋のずれ止めを設置する。
3) 開口部表示をする(蓋を踏まない。「墜落時の高さ」を明記し、危険度を認識させる)
4) 蓋の開口部など、閉閉式の了番をつける。コーンバーを設置し、わかりやすく明示。



事例3:
・設備の開口も蓋をする。

ガソリン 携行缶



灯油缶・ポリ灯油缶



灯油缶・ポリ灯油缶



基本的にガソリン、灯油、軽油は、それぞれを見分けられる様に色分け(着色)するよう定められています。製造メーカーにより若干の差はあるものの、ガソリンはオレンジ系、軽油は淡黄色、灯油は無色・透明(セーボルト色+25以上)となっています。

●ガソリンは、第4類危険物 第1石油類 危険リスク大

比重	引火点(℃)	着火点(℃)	燃焼範囲(%)	蒸気圧	水溶性の有無	毒性
0.65~0.68	40	100	1.0~7.0	3~4	無	-

ガソリンの主な性質

- 無色、特有の臭いがある液体。
- 水に溶けない。
- 極めて引火しやすい。
- 静電気が発生しやすい。
- 自動車ガソリンと工業ガソリンに分けられる。
- 自動車ガソリンは、オレフィン系に着色される。

揮発性：蒸発しやすく、引火しやすい
税 金：課税(高い)対象

●軽油は、第4類危険物 第2石油類 密閉・日陰

比重	引火点(℃)	着火点(℃)	燃焼範囲(%)	蒸気圧	水溶性の有無	毒性
0.82~0.84	45~70	250	1.0~6.0	4.5	無	-

軽油の主な性質

- ディーゼルエンジン車の燃料として使用される。
- 燃焼範囲の下限値が小さい。
- 水に溶けない。
- 蒸気圧が大きい。

揮発性：蒸発しやすく、引火しやすい
税 金：課税(低い)対象

●灯油は、第4類危険物 第2石油類 日陰保管

比重	引火点(℃)	着火点(℃)	燃焼範囲(%)	蒸気圧	水溶性の有無	毒性
0.79~0.83	40~60	200	1.1~6.0	4.3	無	-

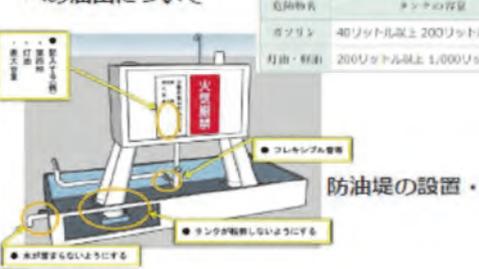
灯油の主な性質

- 水に溶けない。
- 特有の臭いがある。
- 石炭ストーブの燃料として使用される。
- 静電気が発生しやすい。
- 物などにしみ込んだ状態で揮発しやすくなる。

揮発性：蒸発しにくい、引火しにくい
税 金：非課税対象

●消火の方法
泡、二酸化炭素、粉末、ハロゲン化物による→窒息消火

●少量危険物を貯蔵および取扱う場合、消防署への届出について



特 集 令和6年度 ヒヤリ・ハット調査結果

報告事例総数73件の内、発生場所では中間処理場、災害の種類では衝突接触が一番多い結果となりました。抜粋した事例を紹介しますので、様々な立場・状況のヒヤリ・ハットをイメージし、安全衛生対策の参考として下さい。

●災害種類別報告件数(件)

衝突接触	転落転倒	飛来落下	挟まれ巻き込まれ	その他
30	15	7	1	19

●報告事例一覧(抜粋)

	発生場所	年齢	内容	対応策等
転落・転倒	排出事業所	40	積込作業時、足元の段差で転倒しかけた。荷が重く、腰を痛めそうになった。	作業前には、足元の整理・確認をする。重量物は、複数人で運搬する。
		30	コンテナに登ってシートをかけているとき、滑って落ちそうになった。	足元を確認しつつ、落ち着いて作業を行う。
		20	釜場で汚泥を吸引中にホースの先へ石が詰まり、その石を除去するために釜場を移動した際に、足を滑らせ危うく転落しかけた。	足場が滑り易い状態である場合、対滑長靴等の使用や、慎重な作業を心がける。
		40	2段積みトン袋を乗せたウイング車から、袋をリフトで降ろす作業中、荷台に乗りトン袋の手綱をリフトに掛ける際、手綱に足をとられ転倒しそうになる。	落下の危険がある場所では、三点支持を基本とし、慎重な作業をする。
		50	寒い日に解体現場で散水をしたため地面が凍結。転倒しそうになる。	散水作業は必要だが、作業員の安全通路などを確保する配慮が必要。
	積替保管場	50	収集作業の際、足をすべらせ車の荷台でアバラを強く打ち骨折した。	対滑長靴の利用や、足元を確認しながらの慎重な作業を心がける。
		40	トラック荷台で荷降ろし中、積荷につまづき転倒しそうになった。	作業スペースの整理整頓、各動作における身体安定性の確保を実施教育。
	中間処理場	30	汚泥を排出後、車両タンク内を清掃中に足元が滑り、200tピットへ転落しかけた。	清掃時は、車両をピットから離して作業を行う。
		30	設備の内部点検時、周辺にダストの蓄積があり足を滑らせ転倒しかけた。	作業前には足元を掃除し、作業スペースを確保。
	最終処分場	30	搬入後、処分場で車両清掃中に足を滑らせ、ピットへ転落しかけた。	今後はピットから出来る限り離して清掃する。
50		重機から降りる時、足を滑らせた。	グリップやステップを利用し、三点支持による昇降を順守する。	
衝突・接触	道路	30	見通しの悪い道路で、車の飛出しあり。徐行していた為すぐに停車できた。	前方・周囲確認、の重要性を認識し、「かもしれない運転」を励行する。
		30	収集運搬途中、先行車が急に左折の合図をし、急ブレーキをかけ、路面店に左折して入った。車間を空けていた為、事なきを得る。	車間距離は十分に取る。また、慣れた道でも、店舗の新規開店などで、交通状況の変化があるなど、不意の状況に対応する余裕が必要。
	保管場 積替場	50	年末の行事の一環で、車両・機械等一齐に洗車する際、車両入替のため移動時に、車対人・車対車の接触の危険を感じる場面があった。	洗車・整備を車種・時間で制限、移動前に周囲確認、声掛けを徹底する。

	発生場所	年齢	内容	対応策等
衝突・接触	中間処理場	40	中間処理場廃材置場で、廃材をタイヤショベルで掻き揚げ作業中に、後から廃材を持ってきた2tダンプが接近し接触しそうになった。	タイヤショベルの作業中の安全確認の徹底。タイヤショベル動作中は待機する。
		50	前方視界が遮られる荷物をリフトに積載・運搬し、ものにぶつかりそうになった。	視界が確保できるバック走行、補助者をつけるなどの工夫が必要。
		40	中間処理場で、産廃ケースの玉掛けを外す際、まだ外してないのに重機が動きケースが接触しかけた。	ミーティング、合図、声掛け、意思疎通の大切さを再度徹底。
		60	重機で分別・整理中に、もう一台の重機が、相手が気付いていると思い込み、アームが届く距離まで接近。しかし作業中の重機側は気付いていない上に、周囲を確認せずアームを回転たため、相手の運転席窓ガラスを破損した。	重機の可動範囲に近づかない、近づく際は声掛け・合図等を徹底し、相手の反応を確認し接近する。重機旋回時には周囲を常に確認する。
	処分場 最終	50	場内への進入路は左側通行だが、重機で逆走してきた運転手がいた。	わかりやすい標識を作成するよう依頼。
飛来・落下	排出事業所	50	積込作業中、プラスチック片が飛んできた。	保護メガネの着用を励行。
		60	元請会社構内のゴミ箱設置場所。パッカー車で回収時にゴミ袋が破損しゴミ片が顔に飛んできた。	保護メガネの着用を励行。
		40	地下ピット汚泥吸引作業時、プロベスター車の吸引ホースが抜け落ち、下部作業員に当たりそうになった。	ホース結束番線を再確認するようにした。
	道路	40	ダンプ走行中、積み荷の木が道路に落下した。	少量の木くずの運搬でも、ネットを必ず掛ける。
	保管場 積替	40	重機でダンプに積み込みを行い、搬出する際に積荷が落下しそうになった。	防護ネットを被せて運搬した。
	中間処理場	50	トラックの荷台扉を開けた際、積み荷が崩落。作業員が下敷きになりかけた。	荷台開扉前に目視確認。荷台扉の取手にロープを付け、離れて引張り開ける。
		50	破碎作業中、重機の破碎用アタッチメントで硬質プラスチックを挟んだ際、割れて飛散し、キャビンのガラスに当たった。	慎重な操作と、周辺作業員への保護具着用の励行を徹底。
		50	フレコンバッグをフォークリフトの爪に引っ掛けて移動中に、爪からフレコンバッグが滑り落ちた。幸いにも周辺に他の作業員はいなかった。	フレコン吊り具を使用する。
		20	顎付き重機で重量物を掴んで旋回中、顎部分の油圧が抜けて、重量物が地面に落下した。	点検を厳正に行う。
	最終処分場	50	余り合材をダンプから降ろす際、途中で固まり落ちなかったため、後ろから荷台に乗りスコップで落とすも、急に滑り落ちてきて当たりそうになった。	荷台での作業をする際は、落下物や、転落の危険性を十分に考慮する。
60		地面が不安定な場所でリフト荷降ろし中、揺れてパレットが崩れそうになった。	地面が安定した場所で作業する。困難な際は動作をゆっくりする。	
巻き込まれ・挟まれ	処分場 中間	40	異物混入したためコンベアの停止が発生した。2名で異物除去にあたり、稼働確認のためその場で無線機による再稼働を指示。聞き手が聞き間違いをしたため、近くの別コンベアが稼働してヒヤリ。	双方2回繰返して伝達し、意思疎通を図る。稼働中は生産ライン内立入禁止、緊急停止ボタンの日常点検をする。
その他	排出事業所	10	汚泥回収中に、ホースがねじれ保持していた右手を捻った。	作業員が触らないようにタッチレスの設備を作成した。
		50	作業場所で廃材の分別・仕分け中、カッターの刃が数枚出てきた。知らずに握ったら手を切ったかも。	分別作業中は集中し、切創防止機能つき手袋を使用するなど、安全対策を厳重に行う。
		50	破碎施設で選別作業中、靴底に釘が刺さっていた。靴底で止まっていたのだけがは無かった。	踏み抜き防止用のインソールを入れた。
	処分場 最終	20	鉄板の上で重機が旋回時に滑り、思わぬ方向に旋回した。	滑りやすい場所で旋回しななければならない場合は、ゆっくり旋回する。

倉敷

支部

令和6年度倉敷支部視察研修会 (香川県) に参加して

倉敷支部 (株)ヒラキン 樋口勇輝

令和7年2月14日より2日間、産業資源循環協会倉敷支部視察研修in香川に参加させて頂きました。今回初めての視察研修で多少、緊張していたのですが会員の方々が温かく歓迎して下さいすぐに緊張もほぐれました。天候にも恵まれて2月中旬にしては比較的温かい気候で過ごしやすく絶好の視察研修日和となりました。

また、隣の香川県という事で、行き慣れた道で移動での疲れも少なく、見慣れた瀬戸大橋からの景色もいつもより綺麗に海面が輝いて見えました。

初日は、富士クリーン様にてリサイクルプラントを視察させて頂きました。

日量処理能力180t単炉での焼却を始め、資源プラスチック→重油、軽油、可燃性の廃棄物→固形化燃料(RPF)、また汚泥・廃油・廃プラスチック等を乾式メタン発酵施設にてバイオマス燃料としてプラント内にエネルギー供給されており科学的な角度からの循環型リサイクルに感銘を受けました。他分野でも国産ライチの栽培試験をされており、試験用のビニールハウスで使用する冷暖房、換気設備、給水設備にかかる電力はすべてバイオマス発電機で生成された再生可能エネルギーで稼働されており非常に高レベルなサーマルリサイクルを見学させて頂きました。



翌日は、(栗林公園→高松盆栽の郷→四国水族館)の順に訪問しました。

栗林公園では美しい庭園に樹齢200年を超える鶴亀松の存在感に圧倒されました。

また高松盆栽の郷では作品のバランス、細部のポイント等を教えて頂き一鉢、数百万の作品もありました。最後に四国水族館ではタイミング良く入園直後にイルカショーを見る事ができ、四国最大級の大水槽「綿津見の景」(幅11m高さ6m)では約500匹の遊魚が種類ごとに色彩豊かで非常に綺麗な光景でした。

倉敷南
支部

令和6年度倉敷南支部 日帰り研修会報告

N I K環境(株) 三宅 正

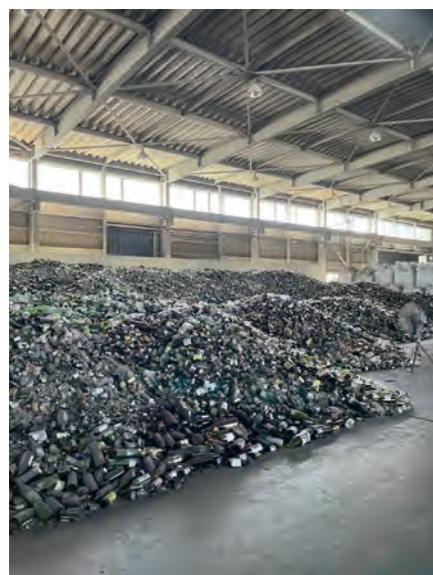
実施日：2024年11月8日

参加者：9名

研修先

①株式会社鳥取再資源化研究所(鳥取県東伯郡北栄町東園583)

廃ガラスの無害発泡技術によるガラス発泡材製造(特許取得)
 太陽光ガラスの無害発泡技術によるガラス発泡材製造(国際特許取得)
 ガラス発泡材を活用した各種応用技術の開発・販売



②株式会社大協組(鳥取県米子市蚊屋235-2)

焼却灰を独自の特許製法で製品化
 公共工事等で使用される多機能盛土材「エコソイルR」として販売
 土木・建築・舗装・砕石・環境などの専門性の高い部門が連携し品質管理や製品開発を行っている



津山

支部

津山支部 2024年度視察研修会に参加して

津山支部事務局 妹尾和臣

2024年11月19日(火)、津山支部では兵庫県にある大栄環境株式会社三木リサイクルセンターと姫路城への日帰り視察研修会を開催しました。参加人数は14名で、鶴山ホテルからバスで出発しました。

午前中は大栄環境へ行き、工場見学を実施しました。最初に案内されたのは「三木バイオマスファクトリー」で、2023年5月に稼働を開始したばかりのこの施設は、処理だけでなく高効率な発電能力を有しています。その発電能力は約11700kWで、三木リサイクルセンター全体の電力を賄うことが可能です。余剰電力は電力会社へ売電し、その一部を買い戻してグループ本部ビルの電力としても利用しています。買い戻すことで、本社ビルの電力も温室効果ガス排出量を実質ゼロにする取り組みとなっており、そのようなやり方もあるのかと非常に参考になりました。

また、地域から発生する廃木材や食品残さなどのバイオマス資源と廃棄物を混焼する施設ということで、参加者は皆興味を持って質問を交えながら有意義な見学をさせていただきました。その後は場内見学に移り、見学者用の車両に乗って場内全体を案内していただきました。大栄環境は広大な土地にさまざまな施設がありましたが、特に管理型最終処分場を一望できるポイントでは圧倒されました。最終処分場は2022年に嵩上げ増設を完了し、残余年数としてはまだまだ余裕があるとのこと。その場で「最終処分場を計画的に整備することは持続可能な社会の実現に不可欠です」など、いろいろと説明いただき、改めて最終処分場の重要性を理解することができました。

その後は質疑の時間をいただき、さまざまな質問をさせていただきました。質疑の中で個人的に一番感じたことは、大栄環境が地域の方としっかりコミュニケーションをとって事業を行っている点です。また、イオングループとの食品リサイクル推進に関する協定や環境フェスティバルの開催など、環境と循環を意識した運営方針には個人的にいろいろと思うところもあり、とても勉強になりました。見学後、改めて参加してよかったと感じております。

大栄環境の見学後は姫路市にて昼食を挟み、最後に姫路城を訪れました。この日は天気もよく、平日ということもあり人も少なめで、姫路城をしっかりと堪能できました。また、見学中の自由時間を利用して参加者同士のさらなる交流も生まれました。

今回の視察は朝8時から夕方5時までの長丁場の行程でしたが、姫路城での交流や普段は見聞きすることがない施設の見学など、とてもよい視察研修会だったと思います。最後に、山田支部長をはじめ、参加会員各社および事務局のご協力により無事視察研修会が終了したことを心より感謝いたします。



青年部会第14回通常総会

去る令和7年5月24日(土)岡山プラザホテル一般社団法人岡山県産業資源循環協会青年部会第14回通常総会が無事開催されました。古山久幸部会長の挨拶の後、一般社団法人岡山県産業資源循環協会会長の大塚雅司様、担当理事の蔵本悟様2名よりご祝辞を賜りました。



続いて定足数の確認後議事に入り、第1号議案「令和6年度事業報告承認の件」、第2号議案「令和6年度収支決算承認の件」、第3号議案「令和7年度事業計画(案)承認の件」、第4号議案「令和7年度収支予算(案)承認の件」、第5号議案「役員改選(案)承認の件」について、いずれも原案通り承認されました。



議事終了後、定年退会者5名の紹介と記念品の贈呈、新役員3名の紹介があり最後に大塚翔副会長の閉会宣言で通常総会が閉会となりました。



全国産業資源循環連合会 青年部協議会 中国ブロック 令和7年度 第22回通常総会

令和7年6月6日(木)、松江エクセルホテル東急において、「全国産業資源循環協会青年部協議会中国ブロック令和7年度第22回通常総会」が開催されました。

総会に先立ち、「電子契約について」をテーマとした講演が行われ、デジタル化が進展する中での契約・手続きの効率化や法的な留意点について学ぶ機会となりました。参加者は、自社における活用方法や業界全体の将来像について理解を深め、大変有意義な時間となりました。

続く通常総会では、会長挨拶や来賓からのご祝辞をいただいた後、令和6年度の事業報告・収支決算、会則変更、役員選任、さらに令和7年度の事業計画・収支予算などが審議され、すべて承認されました。その中でも大きな決定事項は、中国ブロックの新体制発足です。

これまで担当幹事として中国ブロックを支えてきた的場雄一氏(岡山県)が会長に就任しました。幹事時代から積極的に行動し仲間からの信頼を集めてきた的場会長のリーダーシップの下、今後さらに力強い活動が展開されることが期待されます。

また、新しい担当幹事には田中剛氏(岡山県)が就任しました。田中幹事長には急なお願いにもかかわらず快くご承諾いただき、新体制を支える大きな力となることが期待されています。その誠実なお人柄と行動力を生かし、的場会長の良きパートナーとして活動を推進していかれることでしょう。

総会後は懇親会、二次会と続き、参加者間の交流も深まりました。新体制の門出を祝う和やかで活気ある時間となり、中国ブロックの結束をより一層強める一日となりました。



全国産業資源循環連合会 青年部協議会 第26回通常総会

令和7年6月19日(木)「全国産業資源循環連合会青年部協議会第26回通常総会」が東京渋谷区AP渋谷道玄坂にて開催され、岡山県産業資源循環協会青年部会からは古山会長、小林副会長が出席しました。総会に先立ち、各会員が行っているSDGsに関する取組みの紹介や表彰が行われ、総会では令和6年度事業および収支決算報告、監査報告、幹事の退任に伴う幹事選任の件、今年度事業計画および収支予算案の承認などが滞りなく執り行われました。

幹事選任の議題では、中国ブロックの新幹事として岡山県の的場雄一氏が就任。総会後の懇親会では、久しぶりに顔を合わせる仲間たちとの笑顔あふれる交流の中で、業界の今後を真剣に語り合う時間ともなりました。全国の仲間とのつながりを改めて実感し、中国ブロック、そして岡山の絆も一層深まる、実り多き一日となりました。

第19回親子エコツアーを開催する

～ノートパソコン解体体験とキャンドル作りに子どもたちは興味深々～



令和7年8月19日(火)「第19回親子エコツアー」を開催いたしました。当事業は未来ある子どもたちとご家族の方に環境や産業資源循環・リサイクルについて、工場見学や環境学習を通じて、学んでいただく青年部会のメイン事業のひとつです。

本年度は「平林金属(株)リサイクルファーム御津」にて見学の受入をしていただき、家電四品目(テレビ・冷蔵庫・エアコン・洗濯機)のリサイクルについて、説明をしていただきました。同会場にて、「都市鉱山」への理解を深めるために、ノートパソコン解体体験を新たに実施し、より環境負荷をかけない資源循環のあり方についても学んでいただきました。



また、建部町文化センターにて環境学習講座を行い、当協会と地球に優しい適正処理についても説明を行うことで、将来私たちと一緒に仕事をしましょう。というメッセージもお伝えすることができました。

ものづくり体験では「NPO法人タブララサ」協力のもとアップサイクルキャンドル作りを行いました。今回のものづくり体験は大人も子どもも参加でき、思い出とお土産を持ち帰っていただける、新たなチャレンジができたのではないかと思います。

来年度も青年部一同、工夫を凝らしながら業界、協会、未来へとつながる事業を目指し、活動を行ってまいります。



災害廃棄物委員会 災害廃棄物連絡会議、協力要請連絡訓練が開催される

県・市町村・協会による災害廃棄物連絡会議が3県民局単位で行われました。協会からは災害廃棄物委員、連絡窓口員及び事務局が出席し、災害時における協力要請に係る連絡先の確認、災害廃棄物仮置場候補地の下見、仮置場管理運営に関するグループワークを行うなど、市町村及び県の担当者と顔の見える関係作りを行いました。

備前県民局連絡会議

令和7年5月27日（備前市）
仮置場候補地：日生スポーツ公園
協会参加者：7名



備中県民局連絡会議

令和7年6月3日（総社市）
仮置場候補地：山手スポーツ広場
協会参加者：12名



美作県民局連絡会議

令和7年6月4日（津山市）
仮置場候補地：中核工業団地公園
協会参加者：12名



協力要請連絡訓練

令和7年6月25日、災害時に市町村から協会窓口へ協力要請を行う連絡訓練を行いました。市町村担当者が災害を想定し協会の連絡窓口員に要請連絡を入れ、協会の地元災害廃棄物委員が現地調査及び打合せの日程調整を行い、全ての災害廃棄物委員と事務局に連絡し、連絡を受けた事務局は県に通報する訓練で、20市町村が参加し、協会員17名が対応しました。

市町村 → 協会連絡窓口員 → 地元災害廃棄物委員 → 全ての災害廃棄物委員・事務局 → 岡山県

同日、災害廃棄物委員は連絡訓練終了後に協会会議室に集まり災害廃棄物委員会を開催し、岡山県の担当者を交え、連絡会議の振り返りや連絡訓練の振り返りなど意見交換を行いました。

キャンプの魅力にはまって。

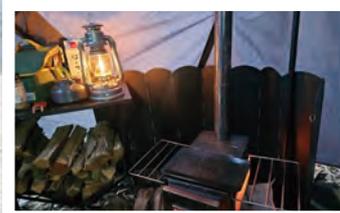
倉敷南支部 山本舗材(株) 山本 堅司

倉敷南支部の山本です。私の最近の趣味はキャンプに行くことです。

今思えばきっかけは、小学生の頃、ボーイスカウトに入っていて、自然の中で遊ぶ楽しさを知りました。子供が小さい頃は家族でキャンプに出掛けていましたが、今はキャンプ好きの友人たちと一緒に出掛けることが多いです。気づけば同級生ばかりが集まるキャンプ仲間になりました。



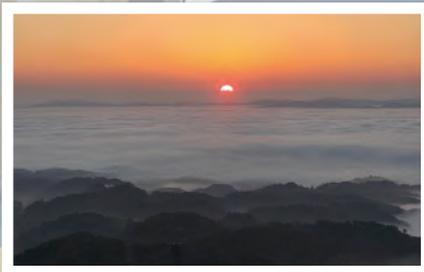
特に冬キャンプの魅力にハマっています。外に出ると氷点下になることもある中、焚火を囲んで、パチパチと薪がはぜる音を聞きながら過ごす時間は最高のひと時です。又テントの中は薪ストーブのおかげで暑いくらいになります。そこで食べるキャンプ飯は普段食べるご飯より何倍もおいしく感じます。そのため、食材の買い物をする時いつも「今日は何を食べるかな～」とあれもこれもとメニューがなかなか決まらずについつい買いすぎて半分以上余ってしまいます(笑) そんな調子で食べたり、飲んだりグダグダと普段と違いゆっくりした時間を過ごすのがキャンプの楽しみです。



標高の高いキャンプ場では、朝目覚めると一面の雲海に出会えることもあります。その景色は何度見ても感動ものです。気づけばギアも少しずつ増えてきました。正直「自分はキャンプ沼には

まるタイプじゃない」と思っていたのに、今では新しい道具を見るたびに欲しくなってしまう。季節ごとに楽しみ方も変わるので、ますます抜け出せなくなりそうです。

キャンプは、季節ごと場所ごとに違った楽しみがあり、何度行っても新しい発見があります。これからもずっと続けていきたい、大切な趣味です。



会員企業紹介 備北支部

NH ニシヨウ 株式会社



塵芥収集車 (2・3t車)



汚泥吸引車 (4t車)



アームロール車 (3・4・11t車)



ヒアブ車 (6t車)



解体作業の様子

岡山県高梁市を拠点に置くニシヨウです。私たちは廃棄に関する高度な専門知識と提案力・対応力を活かし、同業の方々からも信頼される存在を目指しています。現在掲げているスローガンは、“どんなことにも応えられる、企業になる”です。また、創業当初から大切にしてきた「地域密着」の姿勢を忘れず、片付けから清掃、解体まで幅広い業務を自社でワンストップ対応しています。

地域の皆さまのお困りごとにとコトン寄り添う会社であり続けるため、社員一丸となって日々取り組んでいます。

- 会社名 ニシヨウ株式会社 ■ 所在地 岡山県高梁市落合町福地338-1
TEL 0866-22-6300 FAX 0866-22-8510 ✉ nisyou-2@kibi.ne.jp
- 営業時間 08:00～17:00 ■ 休業日 会社カレンダーに基づく(日曜・第2・4土曜・年末年始・GW・お盆ほか)

事業内容

- ◆ 一般廃棄物処理業 ◆ 産業廃棄物収集運搬業 ◆ 建物解体業
- ◆ 清掃業 ◆ 不用品、廃品回収、各種片付け

各種営業許可番号一覧

- 一般廃棄物収集運搬/高梁市指令第4号 吉備中央町許可第7号
- 産業廃棄物収集運搬業許可/岡山県 許可番号 第03315052337号
広島県 許可番号 第03400052337号 姫路市 許可番号 第07003052337号
- **NEW** 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可/岡山県 許可番号 第03355052337号
広島県 許可番号 第03450052337号
- 一般建設業/岡山県知事 許可(般-6)第24637号 ● 古物商許可 721250014761

会社のホームページは
こちらから



一般から法人様まで

**ワンストップで
お任せください**



一般廃棄物



産業廃棄物



特別管理産業廃棄物



解体工事



片付け・不用品回収



遺品整理



ハウスクリーニング



施設・業務用清掃

分析で正しい評価を。

日本エクスラン工業(株)が
お手伝いします。



こんなことに悩んだら、
私たちにお任せください

一般廃棄物として
処分できる？

お任せください

有害物質の測定を行い、基準に適合していることを確認する必要があります。
分析項目、試験方法の問い合わせにも対応しております。

改良土の原料に
使える土？

お任せください

自然地盤の掘削土であっても、自然由来の有害物質が基準を超過して含まれている場合があります。分析を行い、濃度を知る必要があります。

音がうるさいと
苦情を受けた。

お任せください

音の大きさ（騒音）には、規制値があります。測定を行い、数値として把握することで、基準との比較や対策が取りやすくなります。



信頼性と正確さをモットーに、
お客様と共に歩むパートナーとして、
環境関連の問題解決をサポートします。

昭和31年創業、岡山市に根ざして約70年。私たちは環境計量のスペシャリストとして、正確な数値と迅速な対応で地域社会の安全を支えています。

行政からの信頼も厚く、多数の公的業務を担当。化学、生物学など各分野の専門家が在籍し、高度な環境課題にも迅速に対応いたします。環境データの信頼性が求められる時代だからこそ、確かな技術と実績で皆様の環境管理をサポートします。

日本エクスラン工業(株)
環境事業本部

☎086-943-7253

〒704-8194 岡山市東区金岡東町3-3-1

エクスラン 環境測定



www.exlan.co.jp

新入会員のご紹介

令和7年2月～9月に入会された皆さまです。よろしくお願いいたします。

【賛助会員】

日本テクノ(株) 岡山第一営業所

所長 畑 建次

〒700-0821岡山市北区中山下1-8-45

NTTクレド岡山ビル19階

TEL.086-235-3225 FAX.086-235-3226

令和7年3月19日入会

【倉敷南支部】 収集運搬業

まろんハウス 株式会社

代表取締役 栗栖 祥平

〒710-0142倉敷市林347-3

栗栖ビル2F

TEL.086-441-3678 FAX.086-441-3679

令和7年4月24日入会

【東備支部】 収集運搬業・中間処理業

有限会社 山内組

代表取締役 山内 成見

〒709-0412和気郡和気町藤野1282

TEL.0869-93-2460 FAX.0869-93-2459

令和7年7月9日入会

【岡山東支部】 収集運搬業

DK工業 株式会社

代表取締役 鍵本 英利

〒704-8164岡山市東区光津781-6

TEL.086-948-3298 FAX.086-948-3299

令和7年9月10日入会

新入職員の紹介

令和7年4月1日付で事務局次長に就任しました、西野剛正(にしのだかまさ)と申します。柴犬推しのみずがめ座A型です。現在、廃棄物の「は」の字を勉強中ですが、一日でも早く仕事に慣れ、皆様のお役に立てるよう努力してまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

(写真)愛犬サクラ→



令和7年度研修会開催予定のお知らせ

種類	日時	場所
産業廃棄物実務担当者研修会 同じ内容の研修会を 2回開催します	令和7年10月23日(木) 13:30~16:00 令和8年2月10日(火) 13:30~16:00	岡山市北区芳賀 テクノサポート岡山
処分業者向け項目追加説明会	令和7年11月5日(水) 14:00~16:00	岡山市北区芳賀 テクノサポート岡山
廃材アートコンテスト表彰式	令和7年12月20日(土)	岡山市北区天神町 岡山県天神山文化プラザ

※日時、場所等は変更する場合があります。

※おむね1か月前に研修会開催のご案内をします。



写真提供：(一社) 高梁市観光協会

吹屋ふるさと村(岡山県高梁市成羽町吹屋)

中国山地の山懐に抱かれた吹屋は、ベンガラ生産やその原料であるローハで巨大な富を築いた豪商たちが作り上げた町。赤銅色の石州瓦とベンガラ色の外観で統一された赤い町並みが印象的です。豪商たちの屋敷、旧吹屋小学校や銅山跡の笹敵坑道などから繁栄の歴史を感じることができ、「ジャパンレッド発祥の地」として日本遺産に選定されています。

吹屋ふるさと村のボンネットバスは、高梁市が福山自動車時計博物館から譲り受けたトヨタDB100を、往年の備北バス塗装に復刻し、平成23年11月から土日祝日限定で運行。

編集後記

厳しい暑さがようやく落ち着き、少しずつ秋の気配が感じられるようになってきました。今年の夏は、全国的に気温が40度を超える日も多く、例年以上に体にこたえる季節でした。特に印象的だったのは、目を開けているのがつらいほどの強い日差しです。紫外線が気になる時代とはいえ、ここまでとは…と実感する夏でした。私自身も、今年からサングラスを使うようになりました。外回りや日中の移動には欠かせない存在です。ただ、お客様先ではやはり失礼のないように、普通の眼鏡にかけ替えて対応しています。そんな“使い分け”も、今や夏のマナーのひとつかもしれません。季節の変わり目、皆さまもどうぞ体調にお気をつけて、実りの秋を健やかに過ごしてください。

By o33

会報・クリーン岡山第71号

令和7年9月30日発行

発行 一般社団法人岡山県産業資源循環協会

〒701-1152岡山市北区津高628-6

TEL086-254-9383 FAX086-254-8766

編集 総務広報委員会

印刷 萌友出版



NO.71
2025.9

岡山
く
り
ん



現場の数だけ。



あらゆる現場で実力が光る、 日野ダンプシリーズ。

力強いパワーを発揮し、優れた耐久性を誇る日野ダンプシリーズ。さまざまな現場のニーズにきめ細かく応えるダンプとして、大型トラック 日野プロフィア、中型トラック 日野レンジャーと小型トラック 日野デュトロをラインアップ。豊富な車種バリエーションから、皆様のビジネスシーンにマッチした頼もしい1台をお選びいただけます。

HINO
PROFIA

大型トラック 日野プロフィア ダンプ

HINO
RANGER

中型トラック 日野レンジャー ダンプ

HINO
DUTRO

小型トラック 日野デュトロ ダンプ

岡山日野自動車株式会社

本社 岡山市北区久米166番地1 TEL(086)241-8841

『スピードひかえて安全運転。シートベルトを忘れずに。』



環境事業を通じて、 地域社会に貢献する

 **Best Cleaning & Clean Industry**
株式会社ビーシー工業

産業廃棄物収集運搬業・建設業（機械器具設置工事）
産業設備メンテナンス及び保全工事・資機材調達

事業本部 〒712-8051 倉敷市中畝9丁目12-37
TEL086-456-3421 FAX086-456-5843

本社工場 〒712-8052 倉敷市松江2丁目9-21

東日本事業部 〒274-0063 千葉県船橋市習志野台4-5-11

海外事業部 〒245000 中国安徽省黄山緑地滨江1号1棟701室